

令和4年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立工芸高等学校 学校運営連絡協議会 (定時制課程)
- (2) 事務局の構成 主幹教諭(教務主任兼務)=事務局長、教務部員4名 計5名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画課(室)長、主幹教諭(教務担当)、主任教諭(生活指導担当)、進路指導主任、庶務主任 保健給食部主任 計8名
- (4) 協議委員の構成 (氏名の掲載も可)
学識経験者(大学教授、印刷博物館館長)、PTA会長、同窓会会長、近隣中学校長、近隣住民代表 計6名

2 令和4年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会(第1～3回)の開催日時、出席者、内容、その他
第1回 令和4年7月6日(水曜) 内部委員8名、協議委員4名
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出
学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題
本校の現状と課題等説明、意見交換
第2回 令和4年11月17日(木曜) 内部委員8名、協議委員6名
これまでの教育活動に関する報告、各分掌の課題、学校評価アンケートの実施方法について
協議委員からの教育活動に対する意見交換などや、学校評価アンケートを工芸祭で実施する。
第3回 令和5年3月22日(水曜) 内部委員8名、協議委員6名
授業公開、これまでの教育活動に関する報告。
学校評価の報告及び学校運営に関する報告。学校評価アンケートの報告。
次年度に向けた方向性の確認
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
第1回 令和4年7月6日(水曜) 内部委員3名、協議委員1名
今年度の学校評価の実施に向けた検討
第2回 令和4年11月17日(木曜) 内部委員3名、協議委員1名
アンケートの内容の確認、今年度の学校評価の実施に向けた検討
第3回 令和5年3月22日(水曜) 内部委員3名、協議委員1名
アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理

3 学校運営連絡協議会による学校評価(学校評価報告)

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
・11月 全校生徒 対象：285人 回収：172人 回収率：60%
・12月 保護者全員 対象：285人 回収：29人 回収率：10%
・12月 地域・住民 対象：35人 回収：35人 回収率：100%
・12月 教職員 対象：37人 回収：19人 回収率：51%
※保護者および地域住民については工芸祭(文化祭)の来校者で実施。

(3) 主な評価項目

- ・学校運営：2、3、4、18、19、20、23
- ・学習指導：5、6、7
- ・生活指導：12、13、14
- ・進路指導：9、10
- ・特別活動、部活動：15、16、17
- ・健康、安全：12
- ・施設、設備：18
- ・ワークライフバランス：24

4) 評価結果の概要 (校長や学校全般への意見・提言内容)

- ・生徒の95%以上の生徒は本校の学校生活について満足している。保護者や地域・住民についても95%以上と高い数値である。教員については、割合としてBが多い傾向にあるが、おおむね肯定的な結果がでている。
- ・学習指導については、昨年とほぼ同様、A および B と回答した生徒が80%以上、保護者、教員も同様に高い数値である。

- ・進路指導に関しては、生徒の8割が進路活動においてあてはまるとなっているが、保護者は6割となっている。複数の進路ニュースの発行や個別の進路情報等、例年以上に取り組んできた。
 - ・特別活動に関しては、生徒で88%(A および B の回答、)であり、昨年と同じであった。また、生徒会活動では生徒で60%(A および B の回答)と昨年と比較し12%低い。今年度は学校行事がすべて実施できたことであったので今後の生徒会の活躍できる学校行事などを検討する。
 - ・教員、保護者の回答率が半数であるので、回答率があがるよう工夫していく必要がある。
- (5) 評価結果の分析・考察 (校長や学校全般への意見・提言)
- ・学校評価は高い傾向があると言えるが、社会貢献の学習が充実していない、地域と協力した教育活動を実施していないと否定的にとらえている項目もあった。
 - ・全体的に「A」と「B」の回答が約8割を占めている。本校の教育活動に関して、生徒・保護者の満足度は高いと考えられる。
 - ・進学に関して、授業をしない受験科目についての指導、アドバイスを充実していただけると助かりますと意見があったので、向上させる。
 - ・定時制の生徒もいろんな活動を通して経験を積んで欲しいという保護者からの意見があったので、学校行事等の改善に取り組んで行く。
- 4 学校運営連絡協議会の成果と課題 (学校の自己評価へ反映)
- (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果
- ・生徒の授業についてのアンケート結果から、授業改善に向けた校内研修の実施、充実が必要であると認識できた。
 - ・これまで以上に学年や担任との連絡を密にして、保護者に情報が伝わるようにする。
 - ・観点別評価について、保護者に情報が伝わるようにする。
- (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題
- ・生徒募集をどう考えていくかが課題である。
 - ・より適正な評価を行うためには、協議委員に対してもっと情報提供すべきである。
 - ・進路関係の保護者への後方の充実、ボランティアなどの充実が課題である。
- 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項 (学校経営計画へ反映)
- (1) 学校運営
- ・生徒・保護者に対して、機会あるたびに学校の教育方針を説明し理解を得る。
 - ・生徒指導については、今まで以上に保護者との連携を強化する。
 - ・地域との連携を強化する。
 - ・進路関係に関する保護者への広報の充実、ボランティア活動の充実を図る。
 - ・学期ごとに校内研修会を実施する。
- (2) 学習指導
- ・校内研修の充実。
 - ・地域と協力した教育活動を実施する。社会貢献の学習を充実させる。
- (3) 特別活動
- ・避難訓練や帰宅訓練など学期ごとに実施し防災に関する知識を高める。
- (4) 生活指導
- ・SNSなどインターネット内におけるマナーについての継続指導。いじめに対するの早期対応。
- (5) 進路指導
- ・進路ニュースの発行や個別の進路情報等、保護者に情報が伝わるよう対応する。
- (6) 健康・安全
- ・セーフティー教室や保健講話の拡充。避難訓練の充実。
- 6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合
- (1) 協議委員人数 6人
- (2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数5人

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
5	1					

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 25回 延0人 企画調整会議 30回 延0人

8 その他

- ・回収方法を工夫し多くの保護者から自由意見をいただき、充実した学校生活を送れるよう努める。
- ・今後も様々な項目に対して努力を続けていく必要がある。